



第137号 ふれあいの里  
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者:鉄村 信治  
編集:ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



## CONTENTS

- 1頁・～新年を迎えてのご挨拶～  
奈良東病院グループ今後の運営ビジョン
- 2頁・天理市樅本町市営四之坪自治会様  
健康づくりツアー2022
- 3頁・地域の方へ向けた 吐山学園 学校見学会2022
- 4頁・ふれあいの里イルミネーション2022



医療法人健和会

理事長 鉄村 信治

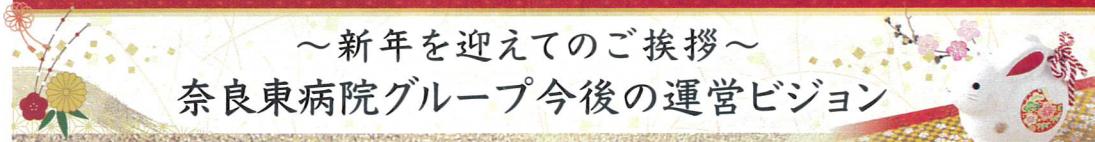
の活躍は暗澹たる気持ちを吹き飛ばしてくれる大変うれしい出来事でした。本年はいいニュースが多い穏やかな一年となる事を祈念しております。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ終息せず、まもなく発生から3年を迎えようとしております。現状、昨年末よりの第8波が猛威を振るっている状況であり、引き続き予断を許しません。しかしながら、従来のように全てを制限するといった事ではなく、世の中も様々な知見を踏まえ社会経済活動を動かしていく方針へ舵を切り始めております。また、2類感染症から5類への変更に向けた議論も開始され、本年は感染症対応の方針が大きく変わる年となるでしょう。当然ながら我々医療機関もコロナには柔軟に対応していく必要がありますが、それに加え通常医療への対応にも注力しなければなりません。このための具体的な方針をいくつか紹介します。

### ①地域の医療機関との連携強化

コロナ禍において特定の医療機関にだけ大きな負担がかかり、連携がうまくいかなかったという課題が浮き彫りになりました。国が進めている地域医療構想では各々の医療機関が役割分担し、医療機関同士で連携していく方針が示されております。我々は地域の基幹病院などからコロナを含め急性期治療がひと段落ついた患者様を積極的に受け入れ、

## ～新年を迎えてのご挨拶～ 奈良東病院グループ今後の運営ビジョン



新年あけましておめでとうございます。

昨年はロシア・ウクライナ戦争とそれに伴う円安や物価高といった暗いニュースがあり、本年も政治や経済が不安定な状況が続くかもしれません。一方、サッカーワールドカップでの日本代表

リハビリテーションや透析の継続などを担っていきます。

### ②在宅や介護施設からの患者様受け入れ強化

昨年の診療報酬改定において、在宅や介護施設で状態が悪化した患者様を急性期病棟だけではなく回復期や慢性期病院(地域包括ケア病棟)で直接受け入れる事が評価されました。今後はこのような患者様は地域包括ケア病棟での受け入れが主流となるでしょう。当院の地域包括ケア病棟は開設時からこれらの取り組みを行っており、今後も強化していきます。

### ③地域への取り組み

以前から取り組んでいるコミュニティバス運行や独居・老々世帯に対する見守り活動、サロン活動に加え天理市包括支援事業に積極的に参画しております。これらは直接的な医療・介護サービスではありませんが、地域の皆様にとって大変喜んでいただいている、今後も大切にしていきたいと考えております。

### ④介護人材不足への対応

奈良市において海外からの留学生を対象とした介護福祉士養成校を運営しております。県内の介護事業所は深刻な人材不足に悩んでおり、近い将来多くの卒業生が介護福祉士として活躍してくれる事を期待しております。

最後になりますが、今後奈良県では後期高齢者の患者様が急増していくと予想されており、医療と介護が同時に必要となるケースが多くなります。これらを一体的に提供できるという事が我々の最大の特徴であり、本年も当院のビジョンである「地域にとって面倒見のいい病院」を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 健和会理念

私達は、医療がサービス業であること を認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

## 健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

## 天理市櫟本町市営四之坪自治会様 健康づくりツアー 2022



天理市北部地域包括支援センターでは、本来の業務に加え、奈良東病院グループの掲げる基本理念の一つである「地域社会への貢献」として、様々な形で住民のみなさまからの依頼に対応させていただいている。住民のみなさまのフレイル予防及び社会交流の場を持つために、住民主体で取り組まれているサロン活動への支援もその一つで、2015年12月にサロン活動を開始されて以来、奈良東病院グループ内の多くの方々にもご協力をいただきながら、櫟本・山の辺校区内でのべ300回開催されています。



出発前に記念写真

しかし、コロナ禍以降、外出の制限が続き、筋力低下・近隣住民同士の交流が減ってきており、熱心にサロン活動をされていた櫟本町市営四之坪の自治会長・自治会員より、フレイル状態になることを懸念され、運動の

機会として、散歩で季節を感じながら、秋の木の実を集め、奈良市内の鹿の愛護会へ寄付としてお届けすることで、「自治会として外出の機会を持ち続け、地域住民の健康づくりに繋げたい」とのご相談がありました。

「外出と交流、運動の機会としたいが、交通の便が悪く、免許を返納している住民が多いため、移動が難しい。奈良東病院グループの方々に、地域のために力を貸してほしい」と自治会様より鉄村俊

夫理事長へもご依頼があり、ご協力させて頂くことになりました。

2022年11月2日、ツアー参加者は自治会長はじめ5名の地域住民の方。奈良東病院より、松岡氏、橋本氏が車両を出して下さり、天理市生活支援コーディネーターで作業療法士の西浦氏と包括スタッフ2名も同乗し、市営住宅を出発しました。今回集めたドングリは麻袋3袋分、合計約20kg。10月の半ばから、近くを散歩したときや、買物に出かけたついでなどに、コツコツ集めたそうです。鹿の愛護会は、近くに駐車場がなく、また事務所までが砂利道で住民のみなさまが歩くにはかなり不安がありましたので、寄贈は包括スタッフが代行させていただきました。その後、介護予防のため、西浦氏のウォーキング指導を受けながら、春日大社周辺を散策しました。



「奈良の鹿愛護会」にどんぐり寄贈



西浦氏のウォーキング指導

参加された方は、「来年もお届けたい」「良いお天気でウォーキングも気持ちよかったです」と短い時間ではありましたが、外出の機会をとても喜んでおられました。

これからも、住民のみなさまの声に耳を傾け、"健康な地域づくり"に取り組んでまいります。

(天理市北部地域包括支援センター 木村 瑞)

## 地域の方へ向けた 吐山学園 学校見学会2022



奈良東病院グループで取り組んでいる介護人材の育成機関である吐山学園の取り組みを、お膝元である「天理市櫟本校区の地域住民の方々へ知っていただく機会を設けたい」とのご提案が鉄村俊夫理事長からあり、櫟本校区区長会・櫟本校区民生委員の方々・櫟本校区内でサロン活動をされている各サロンの代表者の方々へ、普段より地域との親交が深い天理市北部地域包括支援センターより、見学会の趣旨を説明させていただき、2022年11月14日に、計10名の方にご参加いただくことが出来ました。



当日は鉄村俊夫理事長と岡田智幸事務局長より、奈良県を取り巻く介護人材の状況と展望、それに対して奈良東病院グループが取り組んでいる人材育成への考え方と

方からも沢山のご質問をいただき、この取り組みに関する地域の方の関心の高さが伺えました。



その後、実際に日本語学校の学生さんが学ばれている様子や、介護学院の学生さんがグループワークをしている所を見学されたり、また実際に学生さんとお話しして頂いたり、授業のノートを日本語で書き留めている様子もご覧になり、非常に高い日本語力・介護の力を実際に目の当たりにされ、地域の代表者の方々も一様に驚きを隠せない様子でした。

見学会終了後、地域の方からは「奈良東病院でこのような取り組みをされているのは知らなかったので、知れてよかったです。」「今日は(サロン活動の)代表者のみの参加であったが、他の地域の住民も自分達の地域にこのような取り組みや施設があることを知る事で、安心した暮らしが続けられる知るので、自治会単位でも見学に来させてもらいたい。」と言ったお声が聞かれました。

取り組みの実際等などをパワーポイントと吐山学園の動画をご覧いただきながら説明させていただきました。その後、地域貢献の1つとして大和清寿会で取り組んでいる地域巡回バス【すまいる号】を利用して、実際に奈良市にある吐山学園へ地域の代表者の方々をご案内させていただきました。

学校到着後、小谷勝彦学園長より、地域の代表者の方々へ、実際の学生の様子や学校の様子、通学・住居に至るまで教員始め職員が一丸となって、学生のサポートを行っている様子を説明され、住民の

普段から地域と関わりのある天理市北部地域包括支援センターだけではなく、大和清寿会の運行する地域巡回バスの利用、介護人材を一体的に養成する吐山学園の取り組み、実習先・就労先として奈良東病院の各施設が協力し、人材育成を進めていることを知って頂ける機会となり、今後も地域との繋がりを大切にする吐山学園のスタイルを地域の方へ周知して顶く機会をご提案していかなければと考えています。

(天理市北部地域包括支援センター 木村 瑞・吐山学園 木本 篤史)



学園創立3年目で初めて実施する就職イベントです。このフェアでは、外国人留学生と県内の医療・介護事業所が相互交流しながら、お互いが理解を深め、最終的に有償インターン(アルバイト)や就職につながっていくことをねらいとしています。

令和4年11月9日(水)午後2時から吐山学園体育館にて開催しました。ブースで説明を行う医療・介護福祉事業所は31社、見学は4社で合わせて35社ものご参加をいただき、大盛況でプロジェクトは大成功に終わることができました。このイベントに花をそえるべくオープニングをインドネシアの伝統楽器「アンクルン」を使った演奏を51名の学生たちが行いました。ご参加いただいた方々からは「良かった」との声が多く寄せられ好評でした。

フェア実施後には、多くの参加事業者から早速、有償インターン(アルバイト)や就職に関するお問合せをいただいています。

今後は、春秋の2回の開催を企画しており、今回で参加頂けなかった県内の医療・介護福祉事業者の皆様に吐山学園を知っていただき、外国人留学生と医療・介護福祉事業者との交流がさらに深まっていくことを期待しています。

最後になりますが、吐山学園の外国人留学生が県内の医療・介護事業所で活躍できるように、そして学生が奈良県で安心して生活できるように、サポートができるよう今後も進めていく所存です。

(吐山学園 学園長 小谷 勝彦)

## フラワーアレンジメント

病院アクティビティ委員会では、これまで外部ボランティアを招いたり、各病棟や事務部、栄養科などの他部署と協力し、多くの患者様に楽しんでいただけるアクティビティ活動、イベントを開催して参りました。しかし、新型コロナウイルス蔓延防止のため従来のようなアクティビティ活動が困難となっていました。

当院に入院、入居されている方々にとっても面会制限や病棟行事の自粛など多くの人が集まることが制限されるようになり、季節感や他者との交流を図る機会が減少している中、委員会では敬老の日に家族の方にメッセージカードを書いていただきたり、季節に合わせた病棟の飾り付けなどコロナ禍においてもできるアクティビティを検討、企画して参りました。



触ることで生き生きとした表情や笑顔が見られ、感謝の言葉も



いただきました。また、出来上がった作品は各病棟に飾り、彩りや匂いなど参加者以外の方々にも楽しんでいただくことができました。

以前のような日常を取り戻すまで、まだしばらくかかると思いますが、今後も新型コロナウイルス感染対策のもと、患者様、入居者様にクリスマスやお正月など季節を感じていただけるアクティビティ企画を開催していきたいと考えております。

(アクティビティ委員会 委員長 作業療法士 乾 敏明)

## ふれあいの里イルミネーション2022

冬のふれあいの里の風物詩「ふれあいの里イルミネーション2022」を今年も点灯し、ふれあいの里全体が幻想的な光景に包まれました。

ケアハウスふる里は、シャンパンゴールドの光の波に包まれ、通りにはグリーンとホワイトのナイアガラが輝きました。また、今年はエバーライフ玄関前の植栽植え替えに伴い、新たにポールを仮設し、ピンクとホワイトのやさしい光が輝くツリーも登場しました。

昨年に引き続き、全てのイルミネーションやオブジェにはLED灯を使用し、環境や節電にも配慮しております。

点灯時には通行中の方々も思わず足を止め、「今年はどこが新しくなったのか楽しみながら探してみるね」などの声をいただき、思いの時間を光と共に過ごされていました。

イルミネーションを通して少しでもやすらぎや癒しを届けるよう取り組んで参ります。

(奈良東病院 サプライ・サービス課 西内 由敬)



ふれあいの里  
イルミネーション2022

動画配信中

ぜひご覧ください



## マイナンバーカードが健康保険証として便利にご利用できます

奈良東病院では、マイナンバーカードを利用した「オンライン資格確認システム」を導入しています。「オンライン資格確認システム」により、マイナンバーカードのICチップ内の情報をもとに、オンライン上でリアルタイムに医療保険の資格情報について確認できます。また、下記のとおり様々なメリットがあります。

### <4つの主なメリット>

#### ① 医師や薬局に情報を共有できる

被保険者であるご自身の同意がある場合に限って、過去の特定健診や処方された薬の情報が医師や薬局に共有されます。わざわざ病院経由で情報を引き継いでもらう必要がないので、迅速かつ正確な診断につながります。

#### ② 自分の特定検診、薬、医療費の情報が確認できる

「マイナポータル」のサイトやアプリのマイページに、過去に受けた特定検診の結果や処方された薬、支払った医療費に関する情報が蓄積されています。自分の健康や受けた医療について、いつでも確認できます。

#### ③ 医療費控除の申告が簡単になる

「マイナポータル」に医療費の情報が蓄積されるため、確定申告で医療費控除を申告する際、領収書を整理する必要がなくなり、オンラインでの申告が簡単になります。

#### ④ 手続きなしで高額療養費制度の限度額を超える一時的な支払いが不要になる

「限度額適用認定証」がなくても高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

### <ご利用方法>

奈良東病院 受付(医事課)職員に声をおかけください。  
詳しくご説明させていただきます。



「マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!」の詳細な情報は左記QRコードからアクセスしてください。



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。令和5年、新たな年の幕開けとなります。皆様いかがお過ごしでしょうか。

依然として新型コロナウイルスは世間を騒がせており、予断を許さない状況が続いている。そのような状況ですが、昨年を振り返ってみると、スポーツの分野でいくつか明るい話題がありました。2月には北京で冬季オリンピックが開催され、2021年の東京オリンピックに続くコロナ禍での開催でした。日本人選手の活躍が記憶に新しいところです。さらに11月から12月にかけてはカタールでサッカーのワールドカップが開催され、強豪国を相手にした日本代表の姿に大変興奮、感動させられました。また、日本国内に目を向けてみると、プロ野球で東京ヤクルトスワローズの村上選手が史上最小の三冠王を獲得し、大きな話題となりました。そして、その村上選手の神がかり的な活躍を表す表現として『村神様』といった言葉も生まれ、「2022ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞に選ばされました。

新型コロナウイルスの印象が強いこの数年ですが、少し視点を変えると決してそればかりではなく、日常には季節を感じる出来事や人と人とのつながりがあり、その大きさを肌身で感じることができます。コロナ禍でもその一瞬一瞬を大事にしていきたいと思います。

最後になりましたが、令和5年が皆様にとってより良い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。(広報委員長 橋本重之)

